

# 兵庫県 のり漁場環境情報 (西播海域 12号)

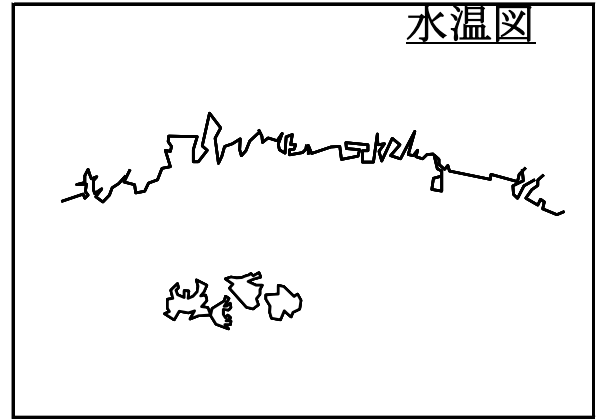
2022年 2月 4日発行  
 兵庫のり研究所

西播地先漁場では、小型珪藻が依然として確認されていますが、発生量は減少していました。一方、沖合漁場では、小型珪藻の発生量はやや増加していました。窒素は、全域で概ね  $1 \mu\text{g-at/L}$  以下の値となっています。

**(栄養塩、珪藻)**

西播地先では、小型珪藻キートセロスを中心として、スケルトネマ、リゾソレニア、レプトシリンダラス等が確認された。キートセロスとスケルトネマの両種を合わせた海水 1 mLあたりの細胞数は、250~400細胞 (前回値: 1000~1700細胞) と減少していた。

家島・坊勢では、西播地先と同様の珪藻類が確認されており、前回(1/26)調査と比較して、発生量はやや増加している。



		前回値	今回値	平年値	昨年値
西播地先	窒素	0.2	<b>0.6</b>	1.3	0.4
	リン	0.26	<b>0.30</b>	0.27	0.45
家島・坊勢	窒素	1.5	<b>0.7</b>	1.8	1.1
	リン	0.50	<b>0.41</b>	0.36	0.50

(1/26) (2/4)

**栄養塩 (窒素) 図**

※西播地先は網干を除く

2022年 2月 4日調査

